



TOP NEWS

ロボコン2024全国大会にて産技高専荒川キャンパス ロボット研究同好会「飛行星X(ひこぼしてん)」が特別賞を受賞!

2024年11月17日(日)に両国・国技館で開催されたアイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2024全国大会に荒川キャンパス ロボット研究同好会から「飛行星X(ひこぼしてん)」が出場しました。

今年の高専ロボコンは「ロボたちの帰還」というテーマで、競技のミッションは、「着地」、そして「回収と帰還」。全国から26チームが出場し、熱戦を繰り広げました。試合結果は二回戦で惜しくも敗退してしまいましたが、最後まであきらめずにチャレンジしたことが評価され、東京エレクトロン株式会社から特別賞を受賞しました。応援いただきました皆様、本当にどうもありがとうございました。



▲大会会場にて



▲一緒に頑張ったロボ研メンバーと記念撮影

公式SNS等で注目された記事をご紹介します。

「知事と議論する会」に参加しました!

2024年12月26日(木)に小池都知事と高校生がゼロエミッションの実現に向けて議論する「知事と議論する会」が開催され、電気電子工学コース3年生7名で結成したチーム「ゼロエミッションナリーズ」が参加し、カーボンニュートラル実現に向けた提案を行いました。

学生たちは、現状の課題として、都民のカーボンニュートラルへの意識の低さと家庭部門でのエネルギー消費の高さに着目。調査によると、東京都でカーボンニュートラルを意識して生活している都民は約3割に留まっており、また家庭部門でのエネルギー消費も全体の約3割を占めています。

この課題に対し、若者を中心とした意識改革を促進する「カーボンニュートラル貢献ゲーム」を提案しました。これは、スマートメーターから得られる情報を活用し、日常的な環境貢献活動をゲーム化するというものです。地域ごとにキャラクターを設定し、住民の活動に応じてキャラクターが成長する仕組みを構築。さらに、活動のインセンティブとして、地域の公共施設整備に使える「エネコイン」と、個人で使える「eポイント」という2種類のポイント還元システムを考案しました。

小池都知事からは「ゲーム化するというのは今時の皆さんらしい発想で素晴らしい」との評価をいただき、ポイント還元制度を通じた自発的な行動促進の仕組みについて高い評価を得ました。



▲都知事プレゼンテーションの様子

U-22 プログラミング・コンテストにおいて 武田 和樹さんが総合部門で経済産業大臣賞を受賞!

U-22プログラミング・コンテスト実行委員会が主催する第45回U-22プログラミング・コンテスト2024において、品川キャンパス 黒木研究室の武田 和樹さんが「PomPomPattern -ぽんぽん設計図ジェネレーター-」という作品で、全272作品の中から総合部門で経済産業大臣賞を受賞しました。

「PomPomPattern -ぽんぽん設計図ジェネレーター-」は、毛糸を使ったパターン入りぽんぽん手芸では本を参考に作る場合がほとんどで、オリジナルの物を作ることは困難であることに着目して開発したもので、簡単にオリジナルの設計図が作成でき、手芸の自由度を広げることができるアプリです。



専攻科生が国際会議 IEEE GCCE 2024 において Excellent Demo! Awards Outstanding Prize を受賞!

本校専攻科2年生の水牧 真唯さんが、2024年10月29日(火)～11月1日(金)の日程で福岡県北九州市のアジア太平洋インポートマート(AIM)で開催された国際会議2024 IEEE 13th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE 2024)において、Excellent Demo! Awards Outstanding Prizeを受賞しました。本賞は、同国際会議でデモンストレーションを含む発表を行った中から、優れた研究に対して授与されるものです。(指導教員:航空宇宙工学コース 真志取 秀人 准教授、共同研究者:工学院大学 高橋 義典 准教授)



本校公式コンテンツリンク集



▲チーム「ゼロエミッションナリーズ」のメンバー